



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/byobugaura/>

6 月 号
令和3年5月31日
横浜市立屏風浦小学校
校長 海老原 眞

変わっていくもの 変わらないもの

副校長 村松 美奈子

5月の中旬から雨降りの日が多くなり、例年より早めの梅雨入りの便りが、少しずつ聞かれるようになりました。屏風浦小学校の豊かな自然に雨が降り注ぎ、ずっと昔から屏風浦小の子どもたちを見守ってくれている木々は生き生きと輝いています。鮮やかな緑に、伸びゆく喜びが感じられます。

5月24日(月)・27日(木)・31日(月)には、今年度最初の懇談会が行われました。現在のコロナウィルスの感染状況を考慮して、Z o o mを活用して実施させていただきましたが、保護者の皆様方のご理解とご協力により、無事に終えることができました。昨年度からの流れもあり、Z o o mを活用した懇談会がスムーズに行われている様子に、時代の変化を実感しました。直接来校いただかなくても、子どもたちや学校の様子を生のお声でお伝えすることができ、学校としても大変意義深いことと感じております。

これからの社会はまさにICTの活用により、ますます変化していくことが予想されています。学校もその流れの中で、変化していくことが増えていくのだらうと思います。

5月24日の朝会では「G I G A開き」と称して、全校の子どもたち一人に1台のi P a dを配付しました。アカウント、I D、ログインなど初めて聞くような言葉が並ぶ中、1年生も6年生も熱心に操作している様子が印象的でした。



これから授業の中でもどんどん使っていきます。一人ひとりの学びが共有できたり、それぞれのペースに合わせて進めたりするなど、効果的にICTを使うことができるよう、教職員も研修を重ねていきます。子どもたちの方が上手に使えることもあるかもしれません。ともに学び合える集団になれるとよいと思います。

また、保護者の皆さまにもロイロノートスクールへのログインや接続状況の報告等のご協力をお願いをいたしました。まだスムーズにいかないところも様々ありますが、短い期間でのご対応、ありがとうございます。今後新たな取組を意識しながら、活用の範囲を広げていく予定です。今後も困ったことや心配なことなどがありましたら、何なりと学校へお問い合わせいただければと思います。

一方、生活様式や学習手段が変わっても、「子どもたちの成長を見守る温かいまなざし」や「子どもたちの幸せを願う気持ち」は変わるものではありません。校舎裏に続く道の脇に植えられている梅の木が、静かに子どもたちの学習の様子を見守ってくれているように、変わらず屏風浦小学校の子どもたちの育ちを応援していただきたいと願っています。

しっかりと向き合って話を聞いたり、相手のことを真剣に考えて行動したりすることは人と人との心のつながりを創り、ともに生きていく力になると信じています。豊かなかかわりを通して、「学び合い 笑顔かがやく 屏風の子」を育てるために、引き続き学校教育活動に取り組んでいきます。